

アルミ食器は改善を 給食施設の整備等研究

水野 恭子 議員(共産党)

導者養成の取り組みの強化を。①働く女性の健康管理、商業、農業で働く女性の実態調査を。②女性ルームを早期に。③市長公室長 ④情報誌の発行リーダー養成は研究したい。⑤関係機関と連携を図る。⑥請願も採択されているので検討する。

⑦平和施策について
⑧平和推進協議会を一般市民に公募し、個人でも参加できる、市民参加の協議会にすべき。

⑨平和の語り部の登録を行い、学校などに戦争体験を語り継ぐ施策を。

⑩児童館等について
⑪来年完成予定の北部児童館は、いつでも誰でも利用できる施設の運営を、また送迎バスは、児童館に行く人も利用できるようにすべき。⑫中、高校生も利用できる居場所づくりを。⑬竜王野外センターに親水性のある公園を。

福祉部長 尾 乗車ス

①「男女共同参画基本計画」の実行と充実について。
②広報、啓発活動や指

夕涼みの集い 花火の開催を 開催場所を含め検討中

小林 喜代司 議員(一新会)

①夏の行事である夕涼みの集いの花火が中止になった事に多くの市民から開催を求める声が出ている。今までの体制、内容、等を充分検討して市民も参加する夏祭りとして開催をしては、という声も多いが市の考えは

助役 市民参加のもとでの開催については実行委員会の中で充分話し合い、市民ぐるみのフェスティバルになるように検討したい。



夕涼みの集いの花火

経済環境部長 今年花火の打上げ場所等の問題により、やむを得ず休止した。新たな花火の打上げ場所や道路の通行止めに伴う交通問題、および地元関係者の理解が得られないよう場所の選定を進めている。過日行われたサマーフェスタ二〇〇四を踏まえた中で現在も検討を進めている。

②大住工業専用地域拡大事業の中に誘致された食品工場が使用される農産物を地元産を供給する事により本市の農業の振興を図る事に役立つと思

助役 今回の立地企業から地元産野菜を活用したいという要請もあり農業振興にとってビジネスチャンスであると考えている。今後J.A京都やまじろ、京都府農業改良普及センター等の協力を得

ながら農家の方々が地元産野菜を作った新たな企業としてそれを育てて行く、といった意欲、意気込みを持っていただけよう取り組んでいきたい

③近鉄新田辺駅、JR京田辺駅周辺の安全対策として駅周辺に監視カメラまたは非常通報装置の設置が必要である、という声が多いが市の考えは、経済環境部長 駅周辺の安全確保のために現在田辺駅前交番の移転工事を進めており年内には新しい交番で業務が開始される。監視カメラ、非常通報装置の設置については交番の移転により周辺の安全確保が向上すると期待できるので状況を見守っていきたい。



学校給食で使用しているアルミ食器

ペースの問題と既設児童館利用の送迎も行っていないので考えていない。

④パソコン教室、交流広場を使って頂ければ良い。⑤地形的に水の確保が困難。

⑥学校給食について
⑦今の自校直営を堅持し、より充実を。⑧いつまでアルミ食器か、磁器食器へ改善を。⑨中学校給食の実現を。⑩地元野菜、旬のものをもっと、給食に取り入れよ。

教育部長 ⑪自校方式で行い、調理を民間委託に考えている。⑫研究している。⑬思春期でもあり、親の愛情が必要。⑭供給体制の確立に向け関係機関と連携を図る。

天神山 安全確保せよ 開発 積極的に対応したい

塩貝 建夫 議員(共産党)



緊急相造成工事が行なわれた急傾斜地(三山木天神山)

①急傾斜地崩壊危険箇所 可権は京都府、京田辺市の防災工事実施の許認

総務部長 指定を伴う防災工事の許認可権は府にも市にもない。急傾斜地崩壊危険箇所について土地所有者が崩壊防止を講ずる自己管理に努め、崩壊の危険を回避する手段を講ずることになっている。尚、天神山の緊急相造成工事については、防災上の安全を確保するため府と市が協議して市において指導を行った。

緊急相造成工事の結果斜面の崩壊を未然に防ぎ防災対策の措置として一

②緊急相造成工事の結果、新たな危険が生まれた。頂上部の墓地の崩壊が危惧されるがその対応について。

総務部長 上の墓石が落ちる危険性については現地確認の上適切な措置が講じられるよう土地所有者に指導したい。

③地域防災計画の中で「危険箇所」を「危険区域」に指定するとされている。市は上申せよ。

助役 市民の安心、安全を図る立場から積極的に対応していきたい。

④入札制度改革について。リサイクルプラザ入札では他県で指名停止処分中の荏原製作所が落札を受け取っている。拒否して受け取らない議員もある。市は出し続けると言うが、市民の税金からこんな話市民が納得されるのか。議会と相談せよ。廃止せよ。

市長公室長 廃止は考えていない。議会で相談を。

⑤リサイクルプラザ(粗大ゴミ、自然ゴミのリサイクル施設)の建設問題。市は工事費を調査、検討し最低、金10億円ぐらいで完成できると公表した。しかし入札では何故か億円近くも大金を出すのか。市民の税金5億円のムダ使いではないか。建設部長 予定価格の範囲内で最低申込者と契約する事になった。

常磐苑、土・日曜も開館を 開館日を増やす方針

小林 正路 議員(21市民会)



カラオケを楽しまれるみなさん(常磐苑)

①先般、下水道工事の入札で設計委託業者の談合情報事件を新聞で知った。市も軽くみられ格好の悪い。談合するようないま、大型車やダンプ車の暴走道と化した。地元住民も顔をそむけている。警察の交通指導も皆無。公安委員会に申し入れて、経済環境部長 規制は公安委員会に所管、警察

業者は選んでないと言いつつ、どう決着したか。建設部長 調査したが談合情報は信憑性がないと判断し入札を行った。

②再び農免道(市道草内三山木)の交通対策

③再び、福祉センター常磐苑の休日振替え、日曜開館を。数年来の要望だ。どうしてやる気がないの。高齢者の要望がどこが気にいらんのか。福祉部長 開館日を増やすよう考えていく。

④新田辺商店街の活性化を。なぜさびれたと思われるか。市は西側と同様に活性化させる責任がある。その方法はある。しっかりやらぬか。経済環境部長 市も助成してきた。東地域まちづくり調査の結果を見て研究を重ねる。

⑤再び、議員に費用弁償の支給は廃止せよ。議員は報酬を受け議会や委員会に出席する毎に日常